

## ドルトムント市内自転車小売店調査

### 1. 大型スポーツ・チェーン店調査

当該スポーツ・チェーン店舗は、ドイツ国内に現在 9 店舗ある。各店は都市中心部ではなく中小都市の郊外に位置する。ドルトムント郊外には現在 2 店舗あり、今回訪問した店舗はドルトムント中央駅から近郊電車（S バーン）で 20 分程の場所にある。最寄り駅からは、徒歩で 30 分程かかり、同店周辺には家具、家電、DIY、食品スーパー等の大型量販店舗が集まり、基本的に自動車での来店を想定している。

自転車は、同チェーンのオリジナルブランド「b' Twin」で、スポーツ車は MTB が 60 台、ロードレーサーが 10 台、トレッキング車が 30 台、シティ車が 10 台、電動アシスト車が 2 台、子供車・幼児車は合計 80 台程の総計 200 台近い自転車が売り場に陳列されていた。更に部品や付属品も豊富に揃いウエア類は、オリジナル品を扱っていた。

完成車は、最安値の MTB 類型車が 129 ユーロ (16,899 円) から販売されており、MTB は 300 ~700 ユーロ (39,300~91,700 円) が中心価格帯で、ロードレーサーは 600 ユーロ (78,600 円) 前後と入門車が中心でシティ車やトレッキング車は 400 ユーロ (52,400 円) 前後が中心で、電動アシスト車は 1,800 ユーロ (235,800 円) という価格帯であった。全般的に小売専門店より低い価格設定となっているが、自転車は同社の試験所で検査済みであり、フレーム 5 年間、部品 2 年間の保証が付き、購入後 30 日以内は商品返却可とカタログに表示されている。



調査店舗



周辺には量販店が集合

近年の同チェーンのドイツでの積極的な動向は、しばしばドイツ自転車業界誌でも報じられ、その最近の記事によると、同チェーンは、店舗面積 5,000 m<sup>2</sup> に及ぶ 10 番目の店舗をシュトゥットガルト郊外に出店予定であり、周辺自転車店は大規模ディスカunter 進出と受け止め懸念を抱いているとのことである。しかしながら、独自の品質保証を付け、料金 25 ユーロ (3,275 円) で完成車 1 台につき 24 か所の整備点検を行うアフターケアを実施している点は日本で多々見られる量販店やディスカunter と異なる。自転車小売専門店シェアが高いドイツ市場において、同チェーンの自転車が消費者に受け入れられるどうか、その成否は大変に注目される。

## 2. 自転車小売専門店調査

### 調査店舗①

ドルトムント中央駅から地下鉄で3駅程の中心地に位置するBICO（自転車関連製品の共同仕入れ組合）メンバー店舗で、スポーツ車はMTB、ロードレーサー及びクロスバイクなどSTEVEN'Sがメインの商品展開で、トレッキング車もSTEVEN'Sを中心の品揃えで一部VSF（自転車小売組合）Fahrrad車も展示されていた。この店舗では、1,000ユーロ（131,000円）を超える高額な商品を多く扱っていた。自転車の展示について、同店のイメージカラーの鮮やかなオレンジ色の専用展示台を備える等、凝った装飾が施されていた。



調査店舗①



整備場



凝った展示方法



VSF Fahrrad

店内の電動アシスト車は、フライヤー、R&Mなど10台程、更に店頭にも2009年モデルのフライヤーの電動アシスト車が販売されるなど、同店は電動アシスト車販売に力を入れていることが見て取れた。店内の自転車は、計200台程で会計と部品、付属品の売り場は別棟となっており、十分な整備所も備えたスポーツ車中心の中規模の自転車小売専門店である。



屋外の電動アシスト車



電動アシスト車売り場

### 調査店舗②

高額スポーツ車は、FELT やシンプロンの MTB、ロードレーサーが 20 台程度、中級から入門車は Haibike を中心に 50 台、トレッキング車はウィノーラなど 30 台、ジャイアントのトレッキング車 10 台と電動アシスト車 5 台、VICTORIA の電動アシスト車も 1 台展示されていた。店主一人で切り盛りする小型店である。



調査店舗②



会計兼整備場



部品、付属品売り場



トレッキング車売り場



シンプロン



VICTORIA の電動アシスト車

**参考；店舗③**

ネット検索上ではまだ自転車店と表記されていたが、10年以上前に自転車販売は止め現在はオートバイの販売のみであった。しかし、電動スクーターとともにザックスのE-bikeが2台展示されていた。

**3. まとめ**

当方が事前に用意した店舗リストでは、上記店舗③周辺の徒歩圏内に他に2店舗の自転車小売店があるはずであったが、両店とも既に廃業して店舗はないと同オーナーより教えられた。ドルトムントは、ルール工業地帯の中核に位置するドイツ第7位の人口59万を数える工業都市である。わずか1日限りの調査であったが、同市はその規模に比べ自転車小売専門店が少ない印象を受けた。その辺りに郊外に大型スポーツ・チェーンが2店舗も進出できた素地があったとも思われる。



店舗③



中央駅付近、Call a bike 固定ステーション

以上

(デュッセルドルフ事務所)